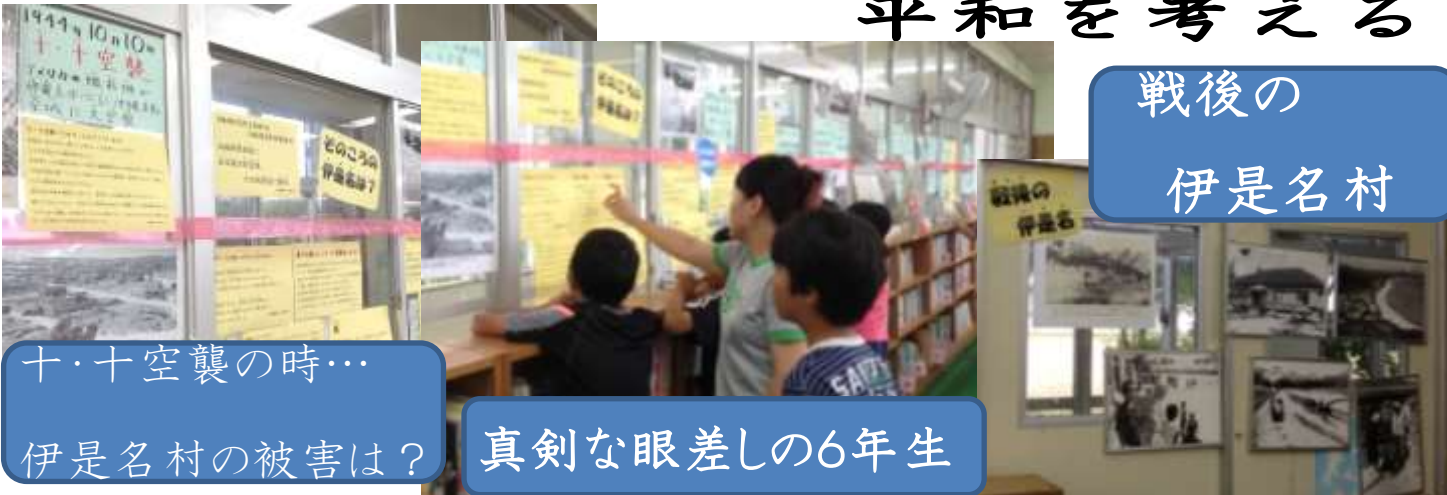


6月23日は『慰霊の日』

沖縄県にだけある「慰霊の日」。昭和20年6月23日は、太平洋戦争で最もはげしい戦いのあった沖縄戦が終わった日です。この戦争によって、二十万人余りの尊い命が失われました。沖縄県では「沖縄戦で亡くなった人々の霊をなぐさめ、戦争の悲惨さを反省し、二度と戦争を起こさないようにと心に決め、世界の平和を願う日」として、この日を「慰霊の日」と決めました。

図書館では、6月23日・慰霊の日を前に、戦争をしり平和を考える資料展を行っています。とくに、その時、我が伊是名村はどのような様子だったのか？に注目し資料と本を展示をしています。この機会に家族で戦争に関する本を読み、命の尊さ、平和について考え話し合っしてほしいと思います。

『平和資料展』戦争をしり 平和を考える



戦争・平和にかんする本のしょうかい

- 📖 『へいわってどんなこと』 浜田桂子 作
 - 📖 『なぜ あらそうの?』 ニコライ・ポポフ 作
 - 📖 『わたしのせいじゃない』 レイク・クリスチャンソン 作
 - 📖 『りゅう子の白い旗』 新川明 作
 - 📖 『13歳の少女が見た沖縄戦』 安田末知子 作
 - 📖 『島の風景』 仲田精昌 作
- ↑ 終戦直後、島で起きた悲劇を、当時少年だった著者が書いた、もうひとつの沖縄戦…

これら以外にも、図書館でたくさん紹介します！！
戦争を知らない私たちですが、本や資料をとおり、『戦争と平和』について真剣に考える機会にしましょう。